

発行人 / 学園町自治会会长・荻野晶子
企画編集 / 学園町自治会広報委員会
編集長 / 浜名 純
投稿・連絡先 / 学園町1丁目14番地31号
電話 / 090-6005-7887

学園町
かわら版
購読無料・各日配布／毎日刊行

116
号



学園町HPは
こちらのQR
コードから

学園町誕生100年記念イベント 「つなぐ学園町の暮らし」

「島の暮らしと未来」 自由学園 緑ヶ丘校舎で開催

学園町自治会主催の学園町誕生100年記念イベント第3弾が、11月23日（日・祝）、自由学園緑ヶ丘校舎（旧緑ヶ丘幼稚園）で開かれました。「つなぐ学園町の暮らしと未来」と題し、東久留米市とDOCOMO Japanに後援をいただきました。

住民の方々がご家庭の植物・種を持ち寄って、交流しながら交換する「苗と種の交換会」「子ども向けチューリップ球根植え体験」「地産地消！新鮮野菜販売」「フリーマーケット」など内容も盛りだくさん。さらに東京第一友の会南沢方面・学園町グループがカフェを開店し、コーヒー や手作りケーキを提供するとともに、友の会の歴史と活動について展示しました。



ちよつぴり肌寒さを感じる日でした
が、朝から午後3時まで近隣の住民ら
が三々五々訪れてイベントを楽しみま
した。チューリップ球根植え体験は
未就学児と小学生が対象、チューリッ
プの鉢植えが終わると空に浮かぶヘリ
ウム入りの風船をプレゼントされまし
た。その風船を片手に持つて園庭を元
気に走る姿が印象的でした。野菜販売
では、ナス、キュウリ、大根、ネギ、
それに殻付きと殻のついていないピー
ナツ（いずれも生）などがたくさん並
びましたが、すべて完売となりました。

学園町 ～建築と風

学園町見学ツアー ～建築と庭が語るまち～



は遠藤新の長男の遠藤陶の設計です。羽仁峰生邸
玄田さんは「学園町のどういった場所にその特徴や歴史が表れているのか、左近邸まち歩きの途中で都度立ち止まりながら説明することができました。左近邸の前には土坡が残っていること、田中富士雄邸の前では、共同炊事が可能な空間設計を遠藤新が作ったことなどもお話ししました」と話す。荒さんは「学園町憲章の説明を行い、住民による豊かなコミュニティが維持継承されてきたことをお伝えしました。まちの変化に寂しさを感じている参加者も多かつた印象です。また、家の中を見学することができ、南澤学園町の歴史の希少性を感じていただけたと思います」と語ってくれました。家の持ち主さんか



ついた場
いるのか、
止まりなが
た。左近邸
こと、田中
事が可能な
ことなども
さんは、「学
氏による豊
承されてき
まちの変化
者も多かつ
を見学する
歴史の希少
いいます」と
ら主さんか
かでき、持
ち主さん
も「こん
なに熱心
に見学し
てくれて、
建物も喜
んでいる
わ」とおつ
しゃつて
ください
ました。

HITOTOWA代表)の3人がガイド役となり、DOCOMOMO Japanの選定邸宅である町田邸(旧小宮一郎邸、西東京市)、羽仁峰生邸(学園町)、芦澤邸(学園町)を巡り、荻野邸(学園町)のお庭を散策しました。また、自由学園の高等部を卒業し、現在は他大学で建築を学んでいる菅さんが、受付・誘導サポートをしてくれました。

ところでDOCOMOMOは、モダン・ムーブメント(近代運動)の推進に寄与した建築の歴史的、文化的重要性を訴え、その記録と現存建物の保存に関する活動を展開する国際的学術組

ところで DOCOMOMO は、モダニズム・ムーブメント（近代運動）の推進に寄与した建築の歴史的、文化的重要性を訴え、その記録と現存建物の保存に関する活動を展開する国際的学術組

織。日本支部の DOCOMOMO Japan は 2000 年に発足、重要な活動の一つが日本におけるモダン・ムーブメントの建築の代表的作品を選定することです。旧小宮一郎邸はフランク・ロイド・

「あしたのまち・くらしづくり」で 学園町自治会が振興奨励賞を受賞



独自の発想により全国各地で地域づくり・くらしづくり・ひとづくりの活動に取り組んでいる地域活動団体等を表彰する「令和7年活動賞」（主催・公益財団法人あしたの日本を創る協会、読売新聞東京本社、日本放送協会）で、学園町自治会が振興奨励賞を受賞しました。

応募総数223団体の中から選ばれたもので、11月1日、市ヶ谷のホテルグランドヒル市ヶ谷で行われた表彰式に荻野会長、浜名副会長、水沼運営委員が出席しました。表彰式では、柳澤泰洋・内閣府

方々の取り組みを積極的に共有していただきましたが、とても重要なだと考えております」といさつ。また、審査委員長の室田昌子・東京都市大学名誉教授は「受賞をきっかけとして、活動のさらなる展開、飛躍に繋げていただけると大変ありがとうございます。また社会にとっても大変に重要なことであると考えています」と述べました。

学園町自治会の受賞タイトルは、「学園町の自然と景観を守り育て、次代へつなぐ住民主体のまちづくり」。武蔵野の自然と歴史ある景観を守り、世代を超えて安穏として暮らせる住宅地を維持するために、憲章の運用、地区計画の検討、講演会や勉強会、緑化活動、住民交流の場づくりを行っていること。住民主体でまちの価値を高め、次代に引き継ぐ

大臣官房総務課制度室長が「地域社会が直面している課題に対処するため、それぞれの地域においてさまざまな工夫を凝らし、世代を超えて多様な方々と協同しながら活動に力を尽してこられた様子が伝わってきました。こういった活動の一層の普及促進のためには、独自の発想で大きな成果を上げた

取り組みを進めていることが評価されました。

この振興奨励賞は、北は北海道から南は鹿児島までの20団体が受賞。そのジャンルは「子育て」「商業活性化」「就学支援」「自主防災組織」と多岐にわたります。が、「緑豊かな住環境の維持」といったテーマは、ほとんどあります。

生徒が煙や起震車を体験



10月26日（日曜日）午前9時に東久留米市全域に鳴った防災行政無線のサイレンに合わせ各家庭でシェイクアウト訓練（地震の際の安全確保行動「まず低く、頭を守り、動かない」を身につける訓練）を実施しました。

その後自治会で配っている「否認タグ」を玄関先に掲げ各組長がカウントしたのち、全50組中42組が自治会事務局に報告してくれました。

「サイレンの音が聞こえなかつた」という意見が多く、こちらは次回の是正事項として市の防災犯罪課へ報告します。当日は雨模様だったにも関わらず大変多くの皆さまに御参加頂き、誠にありがとうございました。

さらに、各クラスから8名ずして、内閣総理大臣賞をはじめ、受賞団体のほとんどは、NPO、NGO、株式会社など「まちづくり」を「ビジネス」としている組織がほとんど。非営利の組織は、学園町自治会のほか、京都市の「六原まちづくり委員会」などごく一部でした。

せんでした。

さらに、内閣総理大臣賞をはじめ、受賞団体のほとんどは、NPO、NGO、株式会社など「まち

づくり」を「ビジネス」としてい

る組織がほとんど。非営利の組織

は、学園町自治会のほか、京都市

の「六原まちづくり委員会」など

が、「緑豊かな住環境の維持」といったテーマは、ほとんどあります。

10月26日（日曜日）午前9時に東久留米市全域に鳴った防災行政無線のサイレンに合わせ各家庭でシェイクアウト訓練（地震の際の安全確保行動「まず低く、頭を守り、動かない」を身につける訓練）を実施しました。

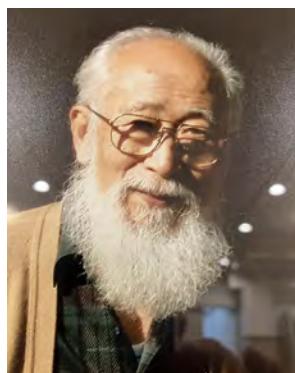
その後自治会で配っている「否認タグ」を玄関先に掲げ各組長がカウントしたのち、全50組中42組が自治会事務局に報告してくれました。

「サイレンの音が聞こえなかつた」という意見が多く、こちらは次回の是正事項として市の防災犯罪課へ報告します。当日は雨模様だったにも関わらず大変多くの皆さまに御参加頂き、誠にありがとうございました。

最後に東久留米消防署員から、災害発生時の中学生の役割についてと訓練の重要性などについて講話をがありました。防災担当の藤城先生はこの日の訓練について「消



学園町のスーパー爺さん 山川丈一さん 逝く 浜名純



山川丈一さんが亡くなつた。90歳を過ぎても白髪頬ひげをなびかせて電動自転車で町内を疾走していた人呼んで「スーパー爺さん」。99歳という11月16日に息を引き取つた。静かな大往生だつたといふ。

山川さんの経歴を駆け足で追つてみよう。先祖は彦根藩士。祖父は陸軍の指揮官だつたが、長男の廣一さん（山川さんの父）は軍人を嫌い、京都帝国大学で法律を学んだ。しかし、祖父の軍人になれという遺言に負けて海軍に入つた。廣一さんは開業医の娘・ときさんと結婚。大正天皇が亡くなつた翌日、ときさんは急に産気づき、男の子を産んだ。山川丈一さんである。だから、山川さんは大正から昭和に変わつた日（12月26日）に生まれた。生まれたときから山川さんらしいで

由に操る才能はこの頃培われたのだといふ。広島県江田島の小学校を卒業して自由学園に入学。終戦の翌年、自由学園を卒業するが、自由学園に残ることになる。栃木県那須の自由学園農場で働くことになった。農作業に使うスキやクワの修理のため村の鍛冶屋にそれらを持ち込んで仕事を手伝ううち、鍛冶屋の仕事をマスターしてしまつた。鍛冶屋の親方に見込まれ、「娘と結婚して養子になり、鍛冶屋を継いでくれ」と懇願される。いい話だが丁重に断つた。

その頃、夢のような話に深入りしていく。世界連邦国家建設の運動が世界規模で広がつており、日本にもその組織ができたといつて、東京に様子を見に行つた。御

はないか。

浜名純

徒町駅近くの寿司屋の板の間が事務所になつており、そこで働くことにした。だが、1960年前後、キリスト教社会運動家として著名な賀川豊彦や、平凡社の社長・下中弥三郎といった有力スponサーが相次いで亡くなり、活動が衰退。山川さんも食い詰めたので、足を洗つて会社員となる。34歳になつていた。

まず、世界中にテトラポッドの特許を持つフランスの研究所の日本代理店に勤めた。テトラポッドとは防波堤の外側に投入する波消しブロックだ。仕事は文書の翻訳だったが、ある日、山川さんが独自に防波堤の設計図を作つたらフランスの研究所とほとんど違わないものができてしまつた。それによつていくつかの防波堤が作られたが、いまだに山川さんの設計した防波堤で事故が起きたことは一度もないといふ。この時代は、山川さんにとって思想的冒險時代でもあった。ロマン・ローランの全集を読み漁り、鶴見俊介らが始めた思想の科学研究会に関わつた。

さて、テトラポッドのあとは、スイス系の機械商社に入りドイツで生活する。間もなくドイツ語を使つてビヤホールで冗談を言い交すまでになる。この商社には10年近く在籍、イタリア、フランス、スウェーデンに何回も行かされた。長くて3か月の滞在だが、小

てしまう。
そして、最後が世界的に知られたイスの錠前企業KABAである。日本との合併会社が設立され、技術移転の責任者となつた。日本KABAは大発展し、山川さんは定年まで勤めた。

定年後は、学園町のために尽くし、自治会の会長を務めた。10年以上前には盛大な生前葬を行つた。

萩野晶子現会長は、「自治会会長を引き受けてから、山川さんの敷いた線路の上をずっと走つていて、感謝しかありません」と話す。自治会で長く会計を務めた岡田正意さんは、「自ら制定した役員定年に従つて会長を退かれました。長年自治会に尽力されたことには感謝しかありません」と話す。

・ゴミ出しのルールの遵守
・風の強い日は特に、飛散防止のため袋をしっかりと縛るなどご配慮ください。

・家の周囲の可燃物の整理整頓
・乾燥による火の取り扱いへの注意（暖房器具、喫煙、火気の使用など）

・地域内で気になる点を見かけた場合の、早めの声掛け・共有

皆さまのご協力が、安全で安心な学園町の維持につながります。

ご協力のお願い
防災への備えについて

先日の大分県での大規模火災も記憶に新しいところです。

風速15mの強風下という厳しい気象条件ゆえの大規模火災でしたが、これから冬に向かい、空気が乾燥しやすくなります。

日々のちょっとした心がけが、大きな事故の予防につながります。以下の点にご留意いただき、防災への備えをお願いいたします。

日々のちょっとした心がけが、大きな事故の予防につながります。以下の点にご留意いただき、防災への備えをお願いいたします。

・風の強い日は特に、飛散防止のため袋をしっかりと縛るなどご配慮ください。

・家の周囲の可燃物の整理整頓
・乾燥による火の取り扱いへの注意（暖房器具、喫煙、火気の使用など）

・地域内で気になる点を見かけた場合の、早めの声掛け・共有

皆さまのご協力が、安全で安心な学園町の維持につながります。

年末年始の資源物
集団回収にご協力を

新聞紙、雑誌、本類、段ボール、古紙、アルミ缶、古着・布を回収します。回収日：12月15日（月）

◆12月29日（月）の回収はありません！
1月5日（月）、1月19日（月）
1月5日（月）、1月19日（月）の回収はありません！

いつの間にか、山川さんの言葉をしゃべれるようになつています。

